



HPを
チェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中！

ぽらーのNEWS トピックス

北上産の小菊 取引市場でPR JA・市がトップセールス実施

JAは7月18日、取引市場である(株)大田花き(東京都大田区)で、北上市の特産品である小菊のトップセールスを行いました。

高橋利光組合長や八重樫浩文市長、北上地域花き部会の齊藤嘉一部長らが訪問し、産地の現状や販売対策、高値取引への要望などを伝えました。小菊は盆前、彼岸前に出荷ピークを迎え、今年は販売金額5300万円を目指しています。



競りを前に、北上産小菊の魅力をPRする八重樫市長(写真中央)

各支店でふれあいイベント開催 地域住民との交流はかる

JAでは地域住民との交流を通じて親睦を深めようと各支店で「ふれあいイベント」を開催しています。

湯本支店(花巻市湯本)では7月19日に「湯本支店夏まつり」を開きました。支店職員や組合員組織、地元企業が屋台で飲食物を提供し、地域住民など約400人が来場しました。同日は、餅まきや農家組合対抗カラオケ大会、抽選会が行われ、大いに盛り上がりました。



盛り上がりみせるカラオケ大会の参加者たち

最優秀賞に小原武さん(東和町) 第9回花巻農協肥育部会枝肉共助会

肥育部会は7月24日、東京食肉市場東京都港区)で「第9回花巻農協肥育部会枝肉共助会」を開きました。黒毛和種の肥育牛24頭が出品され、上物率は95.8%でした。

最優秀賞には小原武さん(花巻市東和町)の出品牛(去勢・枝肉重量594kg・BMSナンバー12)が選ばれ、ロース芯の大きさや無駄がなく歩留まりの良いつくりなどが高く評価されました。



最優秀賞を受賞した小原さん(前列中央)と表彰された生産者など

カメムシ多発 注意呼び掛け リンゴ現地講習会

JAと県中部農業改良普及センターは7月15日から18日の4日間、管内24会場でリンゴの現地講習会を開きました。

鎌田敬一さんの園地(花巻市大迫町)で開かれた講習会では、JA職員が誘引や徒長枝の管理を実演しました。管内の果樹類ではカメムシの発生が多発しており、品質への影響が懸念されることから、飛来を確認した際に速やかに防除できるように観察の徹底を呼び掛けました。



枝吊りを実演するJA職員

柴田理恵さんが講演 レディースセミナーに女性部員集う

岩手県女性組織協議会は7月10日、北上市文化交流センター「さくらホール」で第18回岩手県レディースセミナーを開き、県内各地から約900人の女性部員たちが参加しました。

同日は、女優でタレントの柴田理恵さんが「ひとりひとりの人生劇場」と題して講演を行い、自身の生い立ちや俳優人生、母の介護などを、時折笑いを交えながら話しました。



笑いを交えながら話す柴田さん

農家組合営農部長研修を実施 3地域で「米情勢」テーマに研修

JAは7月、花巻・北上・遠野地域で農家組合営農部長研修会を開きました。

花巻地域では29日に開催し、88人が参加。JA全農いわて、伊藤忠食糧(株)焼肉ライクの3者が、販売・流通・消費の立場から「令和のコメ騒動」を踏まえた現状や、今後の展望について伝えました。また、JAを交えてディスカッションを行い、要望を伝え合うなど活発に意見を交わしました。



米価について意見を交わす登壇者たち

出荷規格の意識統一はかる 大玉トマト出荷目揃会

JAは7月25日、北上・みなみ・さくら・二子支店(北上市流通センター)で大玉トマトの出荷目揃会を開きました。

同日は、JA職員や市場関係者、生産者など23人が参加し、現物を確認しながら出荷規格について意識の統一をはかりました。JA職員は「市場からの評価が高く、年々実績が上がっている。農協事業を有効活用してもらい、昨年を上回る販売額を目指す」と話しました。



出荷規格を確認する参加者たち

花卉高品質生産と出荷願う 西和賀花卉出荷大会を開催

JAと西和賀花卉生産組合は7月22日、西和賀園芸センターで令和7年度西和賀花卉出荷大会を開きました。

JA職員や関係機関、生産者など約70人が参加し、高品質な花卉の出荷を誓いました。同組合の高橋文昭組合長は「品質を落とさず、需要期の大量出荷に向けて頑張っていこう」と激励しました。今年度は、前年度比114%となる販売額2億7800万円を目指します。



高品質出荷に向けて言葉に力を込める高橋組合長